

# 西光寺だより

第十七号 平成二十四年一月一日発行

## 新年明けましておめでと〜うございます

2012年の幕開けです。今年は、大阪は天候に恵まれた穏やかな年明けでした。清々しい元旦の空気は、私達ひとりひとりに、そしてこれからの日本に希望の光を与えてくれているようにも感じられました。皆様は、どのような年明けをお過ごしになられたでしょうか。

新年は心機一転、新しいことに挑戦する良い機会でもあります。年が明けるとするのは、ただいたずらに月日が流れて一年が過ぎたということだけではありません。「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。一年の初めは、今までどのようなことがあるうとも、今ここに在る私をうけとめ、これからの私を紡いでいく機会を与えてくれているのではないかとも思います。

また一年越させていただいたこの「いのち」。限りあるこの「いのち」をどのように生きるかは、自分次第です。

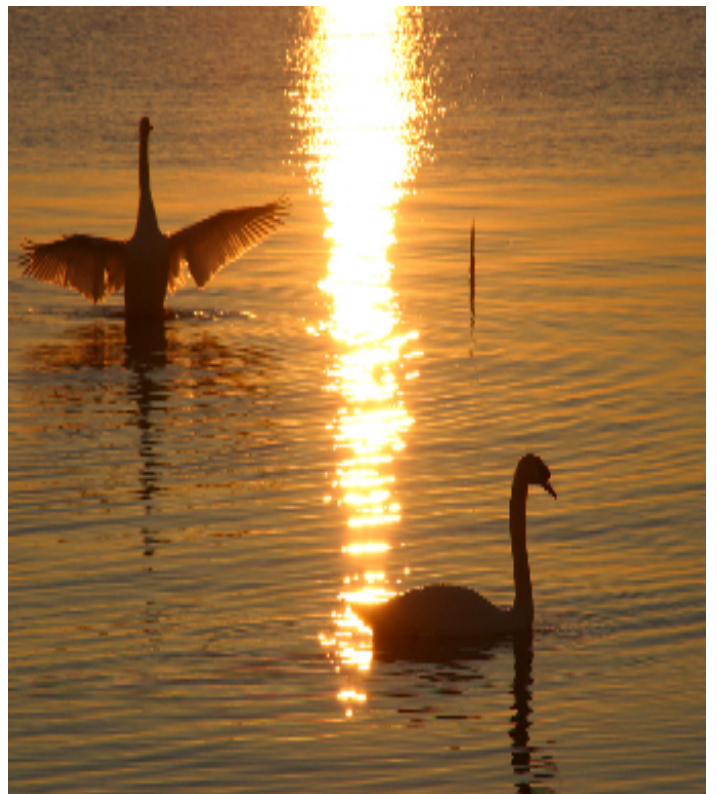
私達は、自分の心持ちによって、周りの世界が素晴らしいものに見えたり、反対にとてもつらいものに見えたりします。心の浮き沈みによって左右される愚かな存在であります。

しかし、そんな愚かな私たちでも仏様は見捨てず、お傍にいてくださいます。

今年の西光寺だよりは、「今月のことば」において皆様に馴染みの深いお経や仏事に関することを抜粋し、そのことばを共に味わわせていただこうと思っております。

仏様のおことばを味わわせていただきながら、それぞれのこの一年を共に紡いでまいりましょう。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。



## ●今月のことば●

「によせがもん如是我聞」

お経は「如是我聞」という言葉から始まります。

「わたしは、かくの如くお聞かせいただきました」と、現代語訳すると「私は、このように聞かせていただきました」という意味です。

永代経でお勤めする『阿弥陀経』も「如是我聞 一時仏在・・・」と始まります。

お経は、お釈迦様のご入滅後、多くの弟子たちが集まり、お釈迦様のご説法を記録したものです。「如是我聞」は、その弟子の一人、お釈迦様のお説法をもっともよく聞かれたという阿難（アーナンダ）が、初めに言われた言葉だと伝えられています。

ここで大切なことは、「仏様がこのようにおっしゃられました」で始まるのではなく、「わたしは、このようにお聞きしました」と私の立場から始まるということです。これは、お釈迦様のおさとのり世界は広大無辺で捉えようもないが、この私がいたるところによりますとという、とても謙虚な姿勢です。「私の言うことは、仏さまがおっしゃったことだ」というような自分勝手な解釈ではなく、そのまま、その通りに聞くという姿勢がしめされています。

浄土真宗は「聞く」ということをもっとも大切にすることを教えます。み教えを聞くことを聞法（もんぼう）といい、法座に参ることをお聴聞（おちようもん）といいます。

「如是我聞」の「聞」とは「信じて聞く」ということです。

ですから、お釈迦様の呼びかけを「聞く」ということは、私見を交えず、そのまま聞くという姿勢でなければなりません。

日常生活においても、つつい自分の都合で聞いてしまい、相手の話をそのまま聞くということが出来ていなかったりしませんか？

人間は、わたくしたちは、それほど自分勝手な生き物なのでしょうね。

新しい年を機に、阿難（アーナンダ）のように謙虚な姿勢で毎日を通り過ぎていきたいものです。

「如是我聞」・・・このことばをしっかりと受けとめ、自分自身を振り返り、ともにお念仏いたしましょう。

## ◆平成二十四年 西光寺行事予定◆

・三月三十一日（土）

春季永代経法要・追弔会

二時・七時 西光寺本堂

・御講師 巖水 法乘（浄覚寺住職）

・五月十二日（土）

摂津十二日講

・八月十五日（土）

孟蘭盆会法要

・九月

在家報恩講

大谷本廟墓参

仏教婦人会報恩講

・十月

秋季永代経法要

・十一月

報恩講法要

・十二月三十一日

除夜会

## ◆先月の報告◆

### 除夜会

十二月三十一日西光寺鐘楼にて除夜の鐘突きを致しました。今年は約六十人の方々が参拝されました。

鐘つきは、一年間を過ごした様々な出来事を思い返し、そして新たな年を迎えるにあたっての思いが重なり合うひとときであります。

鐘について合掌する方々を見てみると、共に今を生きているという思いがこみ上げ、重くそしてあたたかい気持ちで鳴り響く鐘の音を聞かせていただくことが出来ました。

恒例のおぜんざいも好評いただき、多くの方に召し上がっていただきました。今後、こんな風にしたなら、こんなことがあったらもっと良くなる、などご意見ございましたら、お電話、メールなどにてご連絡ください。皆様とともにあるお寺づくりに励んでまいります。

ご門徒の方をはじめ、今回初めて参拝して下さった方々もいらっしやいました。この年明けの皆様とともに、にぎにぎしく過ごさせてください、私ども大変嬉しく思っております。ありがとうございました。



除夜会 鐘つきの様子

新しい年を迎える鐘の音が響き渡ります

### 元旦会

一月一日西光寺本堂にて元旦会法要を厳修致しました。ご門徒の方と正信偈のお勤めを致しました。新年最初の日をこうして皆様と共に、お念仏させていただいたこと、感謝しております。

「明けましておめでとうございます。」

お互いにこのことばが交わせるということは、本当にありがたいことですね。同時に、年を越す前に亡くなられた方のご生涯を大切に思っています。

私どもは誰もが、いっどうなるか分からない存在であります。

そんな中で、こうやって新しい年を迎えられたということ、生かされていくということ。決して無駄にせず、生きてまいりたいと感じながらお勤めさせていただきました。

本年も皆様にとって、良き年となりますように。

### ◎あしがき◎

去年十二月二十五日に前任職である父の三回忌を無事に終えましたこと、この場をかりてご報告させて頂きます。

あつという間の二年間でしたが、父がいたという人生の証を心の支えにしながら、今できることを精一杯していきたいと思えます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

合掌

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七一一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九二

<http://www.osaka-saikouji.net/>